

**新たなつながりを生み出す「しゃべり場」「学び場」
～まちづくりに一役買う総合型へと歩み出したクラブ～
(クラブしっきーず・埼玉県志木市)**

1. まちの中にとけ込む、オープンな事務局

平成12年に発足したクラブしっきーず(以下、しっきーず)は、平成20年に大きくスタッフが入れ替わることになり、クラブの方向性を見直して「まちづくりNPO」と位置づけました。

「まちづくり」を意識したクラブ運営の精神は、閉店した店舗を利用した事務局に現れています。入り口は「しっきーず」の旗や看板、花などでにぎやかに飾り付け、いつも扉をあけてあります。理事長の増田さんは、通りかかる地域の人たちや子どもたちに積極的に挨拶し、声をかけます。クラブが地域のために、地域の人たちとともにあるということのアピールと、誰もが立ち寄りやすい雰囲気づくりを心がけているのです。



空き店舗を利用するのは安く借りられるメリットだけではない。「通り沿いのお店がシャッターを閉めている中に一軒だけでも扉が開き、人が出入りし、軒先に花が咲いているだけで、通る人達の気持ちが変わるんです」

2. 閉じこもりがちな高齢者をひっぱりだす、新たなつながりを生み出す「ひっぱり事業」

その事務局で昨年からはじめたのが、「ひっぱり事業」です。「ひっぱり」とは地元の言葉で、血縁、親戚を示しています。身体活動と言葉をツールとして新たに地縁を生み出し、人と人がつながるしかけをつくるのが狙いであり、埼玉県の福祉基金による助成も受けました。昔の話や日々の暮らしぶりを語り合う「しゃべり場」、スタッフや会員相互に何かを教えあう「学び場」があります。

3. 会員は、自ら楽しむ、できる人ができることをする

しっきーずの会員数は130名前後と小規模ですが、その約半分がスタッフとして登録しているところが特徴です。健康クラブでお互いに楽しむだけでなく、学び場で自分の得意なことを教えたり、福祉施設にレクリエーションの出前をするなどのボランティア活動を積極的に行っています。「元気なシニア、動けるシニアが、困っているシニアや子どもたち、地域の人たちを支えるのです」。

しっきーずは、自らが楽しむクラブとしてだけでなく、地域のつながりを生み出すクラブとしても機能し始めています。



スタッフはシニア層中心。中でも男性が多いのが特徴。一人になりがちな男性を引き込むために、シニア向けの体操、太極拳は常に人の目に触れるように屋外で行い、通りがかったひとたちに「一緒にやりませんか」と声をかけ続けている

(東方美奈子 埼玉県クラブ育成アドバイザー)

【NPO法人クラブしっきーず プロフィール】

1. 設立

設立年:平成12年 (平成14年9月NPO法人取得)

2. 地域

人口:約7万人

特性:志木市は都心に電車で約30分と近く、近年新しい住民が増えてきているが、昔ながらの祭礼や、つきあいがまだ残っている地区も多い

3. クラブ

会員数:約130名

予算規模:約300万円

特徴:埼玉県内で2番目に設立。子ども対象のレクリエーション、シニア対象のメニューに加え、地域貢献活動に積極的

4. 連絡先

〒353-0003埼玉県志木柏町6-5-18

TEL・FAX:048-486-5120 事務局(火曜・木曜:10~16時)

E-Mail: shikkys@muse.ocn.ne.jp URL: <http://www16.ocn.ne.jp/~shikkys/>

関連リンク:東方美奈子氏プロフィール(ページ下)

<http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/11.html>